

# ccTLD/ccNSO報告

ICANN報告会  
2003.11.26

JPRS 堀田博文  
hotta@jprs.co.jp

## 会合概要

- **日時**
  - 2003.10.26～28
- **場所**
  - チュニジア Carthage Palace Hotel in Gammarth
- **参加者**
  - 約50のccTLDレジストリ
  - 約80名
  - 日本からはJPRS
  - ccTLD以外もオブザーバ参加



# ccNSOについて (1)

- **ccNSOとは**
  - ICANN設立時より、DNSOの「ccTLD Constituency」として、LIC(ローカルインターネットコミュニティ)の立場から関連するccTLDに関わる提案
  - DNSOはccNSOとGNSOに二分
  - ICANNモントリオール会合(2003年6月)で組織変更が確定した後、ccNSO-LGによりccNSOの正式設立へ向けた加入者集めが進行中
- **ccNSO設立に向けた進捗状況**
  - ccNSOが発足する条件
    - 世界の5地域(アジア太平洋、アフリカ、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、北米)から4ずつ
    - 合計30以上
  - 現時点の加入数は28(11月20日現在)
    - AF(10) bi ci cm ke mg mr mw ng sd ug
    - AP( 6) au jp kr nz tr tw
    - EU( 1) nl
    - LAC( 8) cl cu gt hn mx pa pe uy
    - NA( 3) ca us vi

## ccNSOについて (2)

- 今回のccTLD会議
  - World Wide Alliance of ccTLD Managers Meeting
- ccNSOに関する論点
  - ccNSOに関する基本的な考え方は一致
    - ccTLDに関する何らかの組織は必要
    - 民間主導のボトムアッププロセスに基づき、LICの意思を反映
    - 取扱事項はレジストリとIANAとのやりとりに関する事などに限定
  - ICANN定款に文言上十分に明確でない部分あり
    1. 最初からccNSOに加入して組織化に参画し、明確化も含め、ccNSOを自ら作ろう (アジア太平洋、ラテンアメリカ、アフリカ、北米からの参加者)
    2. 明確になってからでないと加入したくない (ヨーロッパからの参加者)
- Vint Cerf (Chairman of the Board) 登場
  - ccTLDが具体的な懸念をリストアップし、定款改訂を理事会に相談
- 結論
  - ICANNの中で「private sector self regulation」を進めることを再確認
  - ICANNによる拘束範囲などについて、明文化すべきことを今後整理

## ccNSOについて (3)

- **ccNSO会員会合**
  - 会員のみでなく、全ccTLDが参加
  - Bylawsの変更が必要な箇所の抽出と変更方法
    - 詳細を議論
    - 定款の変更案作成
  - Councilの選挙方法
    - 基本的な考え方を議論
    - 詳細な手順に関する情報共有

# VoIP and ENUMについて (1)

- **ENUM**
  - DNSを利用した技術
  - 各国でのDNS運用をベースとするサービス
  - 各国ccTLDの間でも大きな興味
- **日本の状況 from JPRS**
  - VoIP and ENUM
  - IP電話の普及に関しては、日本が世界を先導
  - IP電話の普及率、および、IP電話専用050という電話番号領域が定義されていることが興味を引いた
  - 2002年9月に始まったENUM研究グループの紹介
  - 2003年9月に創設されたENUM Trial Japan (ETJP)の活動を紹介：  
会員自主活動
  - 各国における電話番号体系とENUMの管理体制が強い相関関係を持つことに関する検討結果に参加者の興味が集中

## VoIP and ENUMについて (2)

- 英国の状況 from 英国ENUMトライアルグループ(UKETG)の参加者
  - ENUMの基本的な仕掛けや検討課題の説明
  - ENUMはIP電話のためだけにあるのではなく、電子メールやWebなどと組み合わせたサービスにも使えることが強調された
  - 英国のトライアルは、ENUMの運用、ENUM上の通信サービスにおける組織構造の検討、規制のあり方の検討、などの机上検討が中心
- まとめ
  - ENUMが世界のIP電話をはじめとする通信サービスをつなぐひとつの有力な方法であるという共通の理解が進む
  - IP電話に閉じない応用分野を持つENUMの将来性を共有
  - ccTLDが、ENUM DNS運用にて果たしうる役割に関し理解が進む
  - 各国の電話番号体系やIP電話、ENUM用の電話番号領域に関するサーベイがJPRSから提案され、合意：結果は各国で情報共有されるとともに今後のENUM運用体制の検討のベースとなる予定



# IDNについて

- ヨーロッパのccTLDも続々IDNサービス開始
  - 今後半年以内に開始することを表明したccTLD
    - ポーランド (既)
    - ドイツ
    - スウェーデン
    - リトアニア
    - オーストリア
    - ハンガリー
    - ポルトガル
    - ルクセンブルグ
    - スペイン
    - スイス
    - リヒテンシュタイン
    - ルーマニア
    - アイスランド
    - .....
- 課題発掘・解決策
  - JPを中心とするCJKの経験を参考に、サービス実装